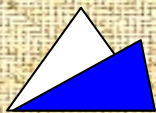


会報

日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）

新日本スポーツ連盟



三島野スポーツクラブ

No. 275

2023年8月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



八ヶ岳・権現岳（三ツ頭より） 小木 清画

8月・9月企画案内

8/11 山の日企画 大日平トレッキング

8/19(土)~20(日) 一の倉沢散策と谷川岳

9/9(土)・10(日)・11(月) 穂高連峰縦走

9/23(土)~24(日) 四阿山・根子岳

山行報告

日野山 6/24(土)

登山セミナー 7/16(日)

雨飾山 7/21(金)

ヒヤリハット事例 報告会 労山県連

紹介 山の本 牧野富太郎と山

8月・9月企画案内

山の日企画 **B** プラン

8/11 (金・山の日)

夏の大日平トレッキング

【集合・出発】6時00分 薬勝寺池 P

【行程】

称名滝登山口 → 猿ヶ馬場 → 牛首 → 大日平
帰路は登山路を下る

標高差 約800m 登り3時間 下り2時間

体力度・技術度とも★★☆☆☆

L: 的場邦夫

【参加申込】8月1日までの的場邦夫へ

SMS 090-4320-5325



2020年7月の大日平トレッキング

8/19 (土) ~ 20 (日)

谷川岳

群馬県みなかみ町 / 新潟県湯沢町
1977m



1日目

北陸・関越自動車道 水上IC → 谷川岳一の倉沢トレッキング (約3時間) → 土合山の家 (泊)

2日目

谷川岳ロープウェイ → 天神尾根(1320m) → 谷川岳山頂
標高差 880m 登り3時間30分 下り2時間30分

体力度・技術度とも★★☆☆☆

L: 的場邦夫

※参加申込は8月5日まで SMS 090-4320-5325 的場へ

※費用は約23,000円



左: 谷川岳の象徴となっている一ノ倉沢。その岩壁は訪れる人々を圧倒します。

企画変更について

10月1日に予定している立山の秋山トレッキング企画を変更したいと思っています。

総会資料には室堂から奥大日岳往復を提案していますが、夏の山の日企画「大日連山縦走Aプラン」のコースと重なるため、世話人会で東一ノ越から黒部平に変更することを検討しています。

正式な決定を次号会報9月1日発行No.276に記載します。

9/9(土) ~ 11(月)

穂高連峰縦走

北穂高岳(3106m) 涸沢岳(3103m) 奥穂高岳(3190m)

1日目

上高地 → 横尾 → 本谷橋 → 涸沢 (泊)

歩行時間 6時間 標高差 登り 850m

2日目

涸沢(南稜) → 北穂高岳 → 涸沢岳 → 穂高岳山荘

歩行時間 9時間 岩稜のアップダウン

3日目

山荘 ↔ 奥穂高岳を往復 2時間

穂高岳山荘 (ザイテングラード) → 涸沢 → 上高地

L: 塚 良昭

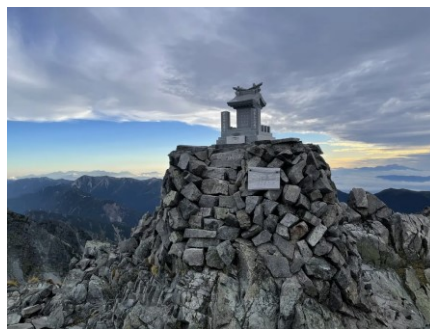
歩行時間 8時間 標高差 下り 1500m

体力度・技術度とも★★★★☆

※ 山小屋の予約受付が「一か月前より」となっています。
それに間に合うよう参加申込は8月7日迄とします。

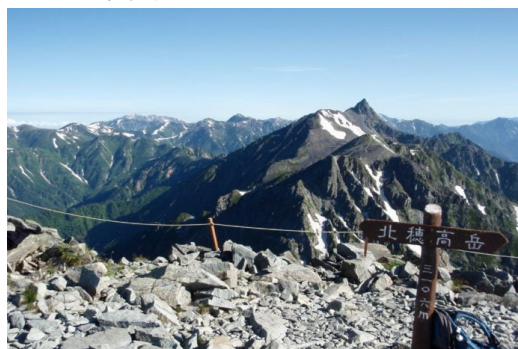
塚 良昭 SMS 080-8033-7427 へ

※ 費用は約 35,000 円



上・奥穂高岳山頂

下・北穂高岳山頂



9/23(土) ~ 9/24(日)

四阿山・根子岳

長野県上田市・須坂市 / 群馬県嬭恋村

あずまやさん 2354m

ねこだけ 2207m

深田久弥の「日本百名山」四阿山。田中澄江の「花の百名山」根子岳。この二峰を踏破する企画。

累積標高差 987m 歩行時間 約7時間

技術度★☆☆☆☆ 体力度★★★★☆

山麓の菅平高原のホテルで前泊して登山口へ。

※菅平スイスホテルを10~12名で仮予約しました。

一泊二食 10,000 円

(2日目のおにぎり昼弁当と入山料込み)

締切は9月9日とします。

詳細な企画内容は9月会報No.276に記載します。



上・四阿山山頂標識
左・四阿山鞍部から根子岳



山行報告

6 / 24 (土)

日野山

ひのさん 795m

福井県越前町／南越前町

A 班メンバー：(L) 的場邦夫、塚 良昭、石黒洋子、高井増美、川渕順正、老川佳子、有澤真知子

B 班メンバー：(L) 堀井泰則、山本則夫、加藤日出子、島倉津也子

A 班【 行程記録 】

| | |
|--------|-----------|
| 荒谷登山口 | 8 : 00 |
| 日野神社奥宮 | 10 : 25 |
| 日野山頂上 | 10 : 32 |
| 昼 食 | 11 : 05 迄 |
| 室 堂 | 12 : 20 |
| 荒谷分岐 | 14 : 10 |
| 荒谷登山口 | 15 : 00 |



荒谷日野神社登山口で

ひとくち感想

高 井：信仰の山、日野山！岩場やロープがあったり、草木が生い茂る整備されていない道があったりと冷や汗をかきかき、サバイバル体験をしてきました。とても楽しかったです。ありがとうございます。

川 渕：今回の山行「結果良ければ全て良し」ということになったが、アクシデントというのは、いつでも起こりうるものだとの認識を新たにした。薬勝寺池 P を 2 台で出発したが、後発(4 人)の車のアクシデントで中止も想定されたが、結果的に乗車ごと別々に山行することに。順調に先行した 7 人グループは当初の計画通り、荒谷町登山口から山頂を經由して室堂を通って荒谷町登山口に戻る周回コースを着実にこなしていた。標高が 795m とは言え、山頂付近は岩場の急登でなかなかの難所。登りの急登を下山する危険を避けた周回コースは良い選択であったと思われた。最後のもう一息の行程まで来た。しかし、地図上で全行程の 1 割にも満たない中平吹ルートから西谷ルートに抜けるルートが今や荒廃が進んで獣道状態だった。カモシカならいざ知らず、とても人が通る道ではない。下山の筈が、斜面が急登の連続で足の置き位置や体勢を間違えると誰の目にも転落は明らか。谷は深く簡単な怪我では済まないだろう。至る所ロープの設置はあったが古くて切れそうな箇所もありあり。極度の緊張を強いられること 1 時間以上。やっと荒谷コースの分岐に出ることが出来た。7 人で難局を脱したことを喜びあったことは言うを待たない。後発グループに連絡を取ると、道を間違え、難なく中平吹を通してタクシーで登山口の駐車場に戻っていた。間違えがかえって幸を招くか…。下山後、皆で越前市の紫式部公園へ立ち寄った。ここはなんと文化的で雅やかな公園であろう。金色に光る紫式部の銅像が眺める先に、先ほど苦闘して下山したばかりの日野山が、秀麗な山容を見せていた。私にとって日野山は思い出深い山となった。

塚：岩場の急登でなかなか登り応えがありました。山頂には立派な奥宮があり、そこで昼食をとりました。下山は登り返しがもっと大変でした。

的 場：リーダーをして初めての経験です。車のパンクで合流が遅れるハプニング、最初登山口で合流しようと思っていたが話し合いの結果別行動にして、下山もコースが違ってしまっただがこれが偶然良かった。帰りは登山口で合流出来て紫式部公園を見学した。色々考えさせられました。

石 黒：荒谷町日野神社から登り、五輪塔、室堂休憩所、穴が空いた鐘、山頂での一輪のササユリなどを眺めて歩きました。山岳信仰の霊山らしい趣のある山でした。途中には忍者修行のような所もたくさんありましたが、気を引きしめながらも楽しんで歩くことができました。歩きやすい道を調べてくださったり、トレッキングポールをペンチで直してくださったり、日野山や福井に関する話をしてくださったりとありがとうございました。三島野クラブでの山行はとても楽しいです。



老 川：あまり福井の山に行く機会がなかったのですがとても美しい形の日野山に登る事ができました。あいにく、雨に降られたりガスがかかっている見晴らしがよくなかったりとガッカリでしたが、ちょっと危険なルートをとったりしてワクワクドキドキ盛り沢山な1日でした



有 澤：久しぶりの参加でドキドキ。苔むした大きな石が続く登山道。雨で濡れているので滑らないよう、ストックを支えにして歩く。せっかくの雨にしたたる緑も楽しみながら、なんとか頂上に到着。後続グループとそのうち合流？と思っていたが、下山のはずが何故か登りに続く登り。もうへたりそうになりましたが皆さんに助けられ無事下山。ありがとうございました

山 本：北陸自動車道に入り片山津インター付近でタイヤがパンクし、2台の車が別行動となった。我々B班は、1時間遅れで登山口に到着。早速準備し登山開始、分岐点までは樹林で滑りやすい登りがずーとずーと続く、更に更に最後は急登で低山ながら登りがいのある山でした。帯で順調に進むが、西谷ルートとの分岐点よりの尾根道は、岩場で更に少し前までの雨で滑りやすい登りがずーと続く、更に更に最後は急登で登りがいのある山でした。

島 倉：1年分のアクシデントと強運と人の情けを使い果たしたような山行でした。合掌。

加 藤：登山口迄2時間余りで到着する予定が、高速でパンクトラブル。

誰も怪我無く無事に、一時間遅れで登山口に到着スタートする。標高差700mの割に急騰続きで、山頂迄は迷わず辿り着いたのだが、下りの周回コースを間違えて下山した。登り口と下りはかなりの距離があり、タクシー数ヶ所TELするが〜どこも混み合っていて無理!!そこで、地元人の親切で(美女二人のお陰)送って頂けた。有りがたき幸せ〜色々ハプニングはあったものの感謝の山行でした thank you(^_^)v

堀 井：昨日は雨だったのか登山道が濡れていて、急登が続く登山道は歩きにくかった。岩場の急登もあって標高のわりに“手ごわい山”でした。帰路の車窓からみた日野山の山容が美しかった。

| B班【 行程記録 】 | |
|-------------|-------|
| 薬勝寺駐車場出発 | 5:30 |
| 日野神社(荒谷町) | 9:00 |
| 分岐点(標高430m) | 10:00 |
| 日野神社 | 11:28 |
| 日野山着 | 11:30 |
| 日野山出 | 12:00 |
| 室 堂 | 12:50 |
| 日野神社(中平吹町) | 14:05 |
| 薬勝寺駐車場着 | 15:30 |

山行報告 7/16(日) 登山セミナー (真川堤防)

メンバー：〈L〉 的場邦夫、〈SL〉 加藤日出子、堀井泰則、老川佳子、高井増美、仲西雅子、
今村和子、松田理恵子、石黒洋子、守田清子、塚 良昭

研修内容

- ① 簡易ハーネスの仕方
- ② ロープワーク
- ③ バランス訓練
- ④ 三点支持 (登る、降りる、トラバース)

ひとくち感想

高 井：気温 35℃を越え、手の平が火傷するのでは？と思うくらいグッと握った岩が熱い！あつ！あつ！あつ！

訓練、訓練、と自分に言い聞かせ、確実に足をのせる。三点支持、ハーネスとカラナビの使い方、実践できてよかった。これも皆様のおかげです。しなやかな体、心が大切だ！と感じました。次への挑戦！を目指して日々訓練！鍛錬！ですねー。ありがとうございました。

老 川：35度をこえる猛暑の中の岩場での訓練は辛かったです。簡易ハーネスの装着の仕方、三点支持による岩稜の登りや下降はとても貴重な体験でした。下りはとても怖くてまだまだ訓練が必須です。これからもご指導よろしくお願いします。

今 村：暑い石を掴みながら三点支持の練習をしました。重心を踵にすると身体が安定することがわかりました。暑い中でのご指導、ありがとうございました。

石 黒：分かりやすくて、大変有意義な登山訓練でした。訓練の必要性や自分の弱点がよくわかりました。頭の中では分かるけど、体でうまく動かすことが難しい！やはり何度も練習することが大切だと思いました。クラブ独自の訓練を実施していただき、ありがとうございました。

仲 西：三点支持ではつついつま先に力を入れていたが、かかとを下げることで安定感がでることに改めて気付きました。又、ロープの結び方は忘れないように時々練習していかなければと思いました。

暑い中研修を企画してくださって皆さんありがとうございました。研修で得たことは今後の登山に活かしていこうと思います。

守 田：三点支持、ロープワークと言うよりも猛暑に耐える訓練(?)のようでしたが、みんな楽しそうで、参加できて良かったです。

松 田：初めは、この崖？を登られるのかと不安でしたが、足をかけ手で岩をつかみ、教えてもらったように体を離して足元を見たら、何だか登れるような気がしました。トラバースも面白かったが、まだまだ爪先立っているよの声に、慣れて進もうとするのは危険だなあと反省。掌が赤くなりましたが楽しかったです。

塚：真川堤防での三点支持の訓練やロープワークは、実践的で 大変勉強になりました。



的 場：三連休の真ん中の日やはり立山駅周辺は混雑していた。真川近くの駐車場も一杯で何とか堤防の傍で止めた。まず簡易ハーネスの作り方、これを素早く自分で出来る様何回も繰り返し訓練する。次に細いロープでブルージェットを素早く作る練習。次は堤防の壁を三点支持で登る。やはりしがみつく人が目立つ。かかとに体重をかけ足元が解るよう指導する。今日は暑かったが皆それなりに頑張った。最後は壁を横にトラバースして終了する。皆に家でも練習してすぐに簡易ハーネスとブルージェットを素早く作ることが出来るようになって欲しい。それが自分の身を守る事になる。頑張ろう。

加 藤：簡易ハーネスの装着、三点支持、トラバース、70 度傾斜岩場でロープワーク＝降下と登攀等練習をした。岩が焼けて熱かった。汗タラタラ～!!! 練習の積み重ねが重要だと思います。

堀 井：真川の堤防の石垣は絶好の登攀訓練の場所であり、岩場の急登の実践的な練習ができました。真夏の日差しがジャマをしましたが…。それにしても、立山駅周辺の駐車場の混雑ぶりビックリしました。

山行報告 7/21(金) 自主企画 **雨 飾 山**

メンバー：L/堀井泰則、石黒洋子、老川佳子、島倉津也子

【行程】

薬勝寺池 P 出発 4:50→糸魚川 IC→登山 P 6:58→登山口スタート 7:21→荒菅沢 笹平 11:39(昼食)→折り返し
下山 12:12→登山口 16:05→薬勝寺池 P 18:40

ひとくち感想

堀 井：夏の BIG「鹿島槍ヶ岳・爺ヶ岳」の事前訓練登山（本音は自分自身のため）と位置付けて企画したが参加したメンバーは夏の BIG 不参加者ばかりだった。9 日の明星山が雨で中止となって、日野山以来およそ 1 ヶ月ぶりの登山。しかも梅雨の雨降りと所用で二上山歩きなどできないままに雨飾山登山に向かってしまった。予想通り？足はつるし、息はあがるし、苦行また苦行で足を引っ張る L となってしまった。笹平手前の岩稜で足の痙攣が激しくなって、ここで敗北。湿布薬を塗布し、休みながら昼食として、ピークめざすメンバーを待った。雨飾山は今の自分には“難敵”だった。

石 黒：水芭蕉の木道、ブナの森、うぐいすの鳴き声、水しぶきの上がる大きな沢（手や顔を洗いひんやり）、色とりどりのお花が緑に映えるお花畑の道、すてきな山でした！しかし、網目のようにはった根や岩場があり、なかなか大変な道で体力を消耗してしまいました。岩場やはしごでは先日習った事（足場を見る、手は目の高さ以下など）を思い出しました。行きたかった山なので、自主企画していただきありがとうございました。

島 倉：約 20 年ぶりの再会の雨飾山。花がきれいで岩場が険しく、風渡る笹平は気持ちよかったです。荒菅沢の上流に残雪があり水が冷たく名水でした。平日で人影少なく 4 人占めでした。また来ます。

老 川：今日はコンパクトに 4 人で雨飾山です。雨が降るかもと心配しながらの山行、標高差が 1050m なのでちょっとキツく岩場も多くて、頂上まであともう少しという所で時間切れ。でもお花が可愛くてプチ幸せ気分でした。お疲れ山でした。



〇〇トラノオ？

ヒヤリハット事例報告会

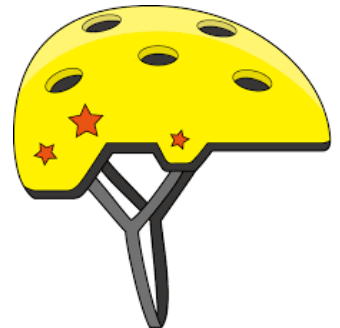
主催 日本勤労者山岳連盟富山県連盟

さる、7月12日に富山県民会館で標記の集会が開催されました。その時に紹介された事例を紹介します。なお、三島野スポーツクラブからは荒井英治さんが「小佐波御前山での大失態の反省と報告」（会報No.274に記載済み）を報告しました。

以下、富山勤労者山岳会と富山ハイキングクラブの事例報告を紹介します。

〈富山ハイキングクラブ 2022年度ヒヤリハット事例〉

- ・ 2022年7月25日（月）山行2日目
- ・ 場所：北八ヶ岳 縞枯山・茶臼山山麓五辻付近
- ・ 状況：68歳、男性。歩行中に玉石を踏み損ねて、つんのめって転倒。左側頭部から落ちる。軽い脳震盪症状（登山用ヘルメットを着用していたため気絶を逃れた）& 軽度の頸椎損傷後遺症あり。
- ・ 原因と思われる状況
前日の「北横岳ヒュッテ」での宿泊の際、1日目の行程終了後すぐに大宴会を催し、コロナ禍以降久しぶりの泊山行だったせいもあって、したたかに飲酒し、翌日は“二日酔い&体調不良で注意力散漫になっていたと思われる。また、加齢のせいもあって、つんのめった後の体制立て直しができないまま転倒した。ヘルメットを着けていなければ、受傷事故になっていたかもしれない。
- ・ 反省と対策
小屋泊山行の時の飲酒を控える。日頃の体感強化トレーニングを心がける。
登山用ヘルメットの着用をクラブ全体に呼びかける。



〈富山労山 マダニ被害報告〉

山城 細蔵山（上市町） / 形態 ハイキング / 2023年4月29日 / 8人
—概要—

細蔵山での登山を終え、駐車場でシャツを着替えた際に、腹部に噛みついた「マダニ」に気づいた。痛みは全くなく、シャツを着替えるまで気付かなかった。軽くマダニを叩いたり、ライターで軽くあぶってみたが離れず、緊急センターに駆け込んで駆除してらった。

—詳細—



細蔵山は登山道があるとはいえ、一部区間藪に覆われている個所や赤布を見落とすと道迷いしやすい山で、藪に覆われた登山道でマダニが衣服の中に入ったのかもしれない。山行途中でOさんにも虫が首筋に噛みついており、マダニではないかと騒ぐ一幕もあり、自分の体に虫が取り付いていないか、その時チェックした時には虫の痕跡はなく、いつの時点でマダニが取り付いたのかわからない。

—対応—

マダニ駆除する際に、無理にとると皮膚内にマダニの一部が残り、炎症や病原体を含んだマダニの体液が体内に流入する恐れがある。マダニが皮膚に

嘔みついたまま病院に行くことにした。

医師会救急センターに駆け込み、皮膚ごとマダニを除去してもらった。皮膚の一部を切り取るので、局部麻酔をしたうえで切り落とし何針か縫合した。

—マダニの恐ろしさ—

幾つもの感染症の媒介者であることです。中での重症熱症血小板減少症候群（SFTS）は潜伏期間6～14日間で発熱、全身倦怠感、消化器症状で、重症化すると死に至ることがあります。有効なワクチンや治療薬が無く、マダニに咬まれないことが一番の防御策になります。

〈ヒヤリハット 番外編 三島野スポーツクラブ 堀井〉

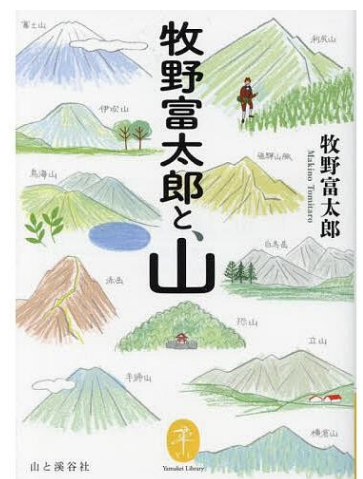
登山靴は安全登山のための最も大事な装備です。

雨飾山山行から帰って登山靴を洗おうとしたら、シール（靴底）が無残に破損していることを発見してビックリ。いつの時点でソールに異常が発生したか全く自覚がありませんでした。雨が降っていた場合は靴底から水が浸みてきていただろう。急な岩場では滑ったり踏ん張りがきかなくなったかもしれない。

今回の靴は残雪期にも適応したもので、7・8年前に購入しある程度の靴底の摩耗はしているものの”大丈夫”と思い込んでいました。登山靴のメンテナンスについて調べると、5年くらいで劣化するという前提で、使用するときには必ず目視でチェックすることが指摘されています。



紹介 山の本



牧野富太郎

1862～1957

高知県高岡郡佐川町生まれ

この著書の121頁「立山」の項を紹介
します。

越中立山のハギ

NHKの朝の連続ドラマの主人公「榎野万太郎」とは日本の植物学の父ともいえる「牧野富太郎」のこと。氏は植物を観察・収集するために日本各地の山を訪れ、その様子をエッセイに残した。

幼少期の佐川の山での思い出を綴る「狐のへだま」、植物を追い求めて危うく遭難しかけた「利尻山とその植物」、日本各地の魅力を存分に語る「夢のように美しい高山植物」山と植物にまつわる35のエッセイを選出。エッセイに登場する山のデータも収録し、牧野富太郎が登った山を訪ねるガイドとして楽しめる。

越中立山の登り道の立山温泉の前にあるハギを、先年その花の咲いている場所、新たにタテヤマハギと名付けたが、それはその花が極めて美しく、見事なものであった。右のハギの花が、あまりにも美麗であったゆえ、私は左の感吟を敢えてしてみた。

立山の萩の本種麗しく

咲き誇りたる立山の萩

このハギの苗を、立山から採ってきて、東京・東大泉町の自庭に移植してみたが、よく育たず、枯れたので更にこれを越中富山にいる友人、進野久五郎君に頼んで、採って送って貰ったところ、充分に繁殖せずして、同じく枯れてしまったのは、残念だった。

牧野富太郎と山

牧野富太郎 著

山と溪谷社 刊 文庫版

256頁 990円税込み

2023年3月20日初版

〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

| 任務分担 | 氏名 | 住所 | TEL | 携帯 |
|------|-------|----------------|---------|---------------|
| 代表 | 岩井 富雄 | 射水市宝町 1364-35 | 57-8180 | 090-5177-9255 |
| 副代表 | 的場 邦夫 | 氷見市十二町 1037-36 | 74-6434 | 090-4320-5325 |
| 副代表 | 堀井 泰則 | 高岡市石瀬 748-6 | 25-2792 | 090-1314-6394 |
| 会計担当 | 塚 良昭 | 射水市寺塚原 226 | 84-1162 | 080-8033-7427 |

世話人会は、荒井英治、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、加藤日出子、守田清子と上記の4名で構成します。

〔相談役〕山田 格、林 憲彦 〔監事〕草 進、浦 幸江

8月の世話人会開催は**8月8日(火)と22日(火)の午後2時から**、会場は「はなみずき」です。どなたでも自由に参加できます。ぜひ顔をだしてください。

会報編集担当です。会報に記載する原稿のは下記アドレスに送ってください。

堀井泰則 horii.yasunori@rouge.plala.or.jp 甲かほる kab@p2.tcnet.ne.jp

松田理恵子 krbara@p2.tcnet.ne.jp

会報『三島野スポーツクラブ』をインターネットで見るとするには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。

ホームページへのアクセスは http://sportstoyama.namaste.jp/99_blank.html を入力して検索してください。また、スマホの場合は右のQRコードを利用してください。

全ページをカラー写真で見ることができます。



編 集 後 記

- ・7月から9月にかけての「夏山企画」は山小屋泊の日程でコースが企画されています。夏山の高山植物や山岳風景の醍醐味を楽しむ為に、体力なども考慮して日程を作っています。が、北アルプスの麓に暮らしている私たちが“気軽にその恩恵を賜る企画はないものか”と思う。その一つが山の日企画「大日平」です。“こんなプランは”という提案を待っています。
- ・初めての山「日野山」いい山でした。が、地元の労山や山岳会にルート状況など教えてもらうことにも眼を向けることが必要だと思いました。
- ・その日野山に向かう道中のアクシデントに、慌てず・焦らず、冷静に対応して企画を完遂できたことは特筆ものだったと“当事者として”思います。
- ・夏山の遭難事故のニュースが流れています。コロナ禍の行動規制が緩んで山に向かう人が多くなるのは避けられないと思います。
“ニュースを聞いて山に行くのが怖くなった”とひるむのではなく、山に向かう時は安全に万全の対策を立てて行動しましょう。
- ・7月9日明星山は梅雨末期の荒天予報が出されていたので中止しました。

コバイケソウ



pixta.jp - 7690596